



■農地利用に関する地域計画

農業振興の一環として、農地利用計画を明確化する「地域計画」の策定が求められています。また、農地や農道、水路などの農業環境保全のための多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用した地域の取組を継続して支援してまいります。

なお、新規就農者には、県や農協と連携し、育成総合対策事業を活用し、就農の自立・定着を支援するとともに、農産物の販路開拓や特産品開発等の促進を図ってまいります。



■町内の保育施設等について

町立土師保育所の園舎については、桂川幼稚園と土師保育所を統合し、幼保連携型の「認定こども園」として開設するため、桂川小学校運動場の東側に隣接する旧町営住宅土居団地跡地を建設予定地として、令和6年度に基本・実施設計を、令和7年度に工事着手、令和8年4月の開園を目指して取り組んでいきたいと考えています。

また、吉隈保育園の新園舎建設については、令和6年3月に着工、令和7年2月の開所予定で、令和7年4月に「保育園」から「認定こども園」に運営形態を変更する計画が進められています。

小規模保育施設「まめだ保育園」は、0歳から2歳児を対象とする保育園で、桂川駅の南側、町道山崎・上深町線の隣接地に完成し、本年4月から開園されることになっています。



■水道事業

昨年、一部地域において濁り水が発生し多大なるご迷惑をお掛けしました。改めて、お詫び申し上げます。今後の対策として配水状況の解析を行い、その結果に応じ必要な措置を講じてまいりたいと考えています。

また、浄水場においては、安定的な水の供給のため、緩速ろ過池の更生工事を行い、配水池については、新たな配水池設置の準備のため必要な調査費を予算計上していますので、よろしく願います。

■給食費補助

物価高騰による食材の値上がりが続いていることから、従来の給食費では児童生徒に必要な栄養価を維持していくことが困難であるため、本年度の3学期から月500円分を上乗せしているところです。なお、現在は、国の交付金の活用により本年3月まで町が全額補助しています。

町の給食費補助については、令和5年度は児童生徒一人当たり月額500円に引き上げていますが、令和6年度は月額500円から1000円に増額し、物価高騰による食材費上昇分が保護者の負担にならないようにしたいと考えています。